

学校だより



つよく あかるく すなおに

学校教育目標

学ぶことを楽しみ、次の学びに意欲がもてる子どもを育てる

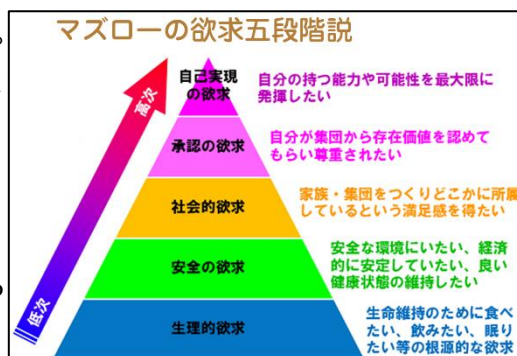
第11号

北海道教育大学附属特別支援学校 令和5年1月27日(金)発行

自己実現へ向けて

高等部主事 早坂 洋次郎

新年がスタートしました。本年もよろしくお願いいたします。本年度も3学期を残すのみとなりました。授業日数としては短い期間ですが、1年間のまとめを行う重要な学期です。学校はもちろん、ご家庭においても、子どもたちの様々な成長や頑張りを十分に認め、自分自身の新たな成長に気付き、次のステージに向かって挑戦しよう、と意欲がもてる学期になるよう、一日一日を大切にお過ごしください。



さて、高等部の教育活動を展開していく上で、大切にしているキーワードの一つに「自己実現」があります。「自己実現」の定義については多様な捉え方があります。

アメリカの心理学者アブラハム・マズローの「自己実現理論」によると、「人には5段階の欲求があるとされている。『生理的欲求』や『安全の欲求』『社会的欲求』『承認の欲求』そして『自己実現の欲求』と内容が段階的に発展していく。」と述べています。

本校旧職員でもあり、札幌の自閉症地域生活支援センターなないろ所長の加藤潔氏は、自己実現について、「自分はけっこういけてるという実感、だれかが認めてくれているという実感、だれかのために(何かのために)生きているという実感、そして『がんばってみようかなと思う自分』がいること。」と述べています。

自己実現に必要な要素として、両者に共通していることは、「他者から認められる」ことの大切さであると私は思います。

子ども達の働く意欲は高く、高等部卒業後は就労を希望する生徒がほとんどで、高等部は学校と社会との接続の学部になります。ですが、最初から「こんな社会人になりたい」、「こんな自分になりたい」という具体的な姿をイメージすることは難しく、どこから頑張ればいいのかわからない、何から始めればいいのかわからない、と感じる子ども達は多いと思います。「目指す社会人」、「理想の自分像」だけにこだわるのではなく、学級の仲間や先生達との日々のやり取りや、日常の授業や作業学習の中での成功体験、現場実習や販売会を通しての達成感や自信、人から感謝された、人の役に立ったという実感の積み重ねがあってこそ、それぞれの思い描く社会人としての姿や理想の自分自身の姿が形作られていくのではないのでしょうか。

昨年は様々な教育活動を通して、子ども達は数多くの人達と関わる事ができました。本年もたくさんの人との関わりや触れ合いを通して、「認められた」という実感を積み重ね、それぞれの「自己実現」へ向け、「がんばってみようかな」と思える教育活動を展開していきたいと思います。

現職教員向け研修講座

地域支援部 能登 祐聡

令和4年12月から令和5年1月までの期間において、渡島管内の小・中学校の特別支援学級教員、道内の特別支援学校教員を対象に「現職教員向け研修講座」を来校研修と、オンライン研修で計2回実施しました。本年度は昨年度と同様に「自立活動」をテーマに取り上げ、6つある自立活動の区分から「コミュニケーション」、「人間関係の形成」の区分に焦点を当てた研修を企画しました。

□第1回研修講座～渡島管内小中学校特別支援学級教員対象・来校実施(12月)

数年前まで本校で勤務され、現在は渡島教育局教育支援課義務教育指導班主任指導主事の和田悟先生をアドバイザーに研修を行いました。本研修では中学部の自立活動の授業を対象に観察してもらい、授業者と参加者の間で、授業について工夫した点などを交流しました。参加者の実践交流では、「どのような指導内容が自立活動に当たるのかということが分からない」との声があり、その点について和田先生から、児童一人一人の実態や困難さを把握し、自立活動の時間における指導だけでなく、教科等の学習活動など学校の教育活動全体を通じて行うことが大切であることを助言していただきました。



□第2回研修講座～道内特別支援学校教員対象・オンライン実施(1月)

第2回講座はオンラインで実施し、北海道立特別支援教育センター研究員の小寺寿臣先生をアドバイザーとして招き、学びを深めました。小学部、高等部の自立活動の授業実践の動画を公開し、参加者と本校職員の間で交流を図りました。小寺先生からは、自立活動の目標設定にあたって、必要性、達成可能性、適時性の3点を考慮した上で優先順位を決めていくなどの助言を頂き、改めて指導について見直す機会となりました。



参加された先生方からは、「自立活動の考え方を学校や学年の中で広げていきたい」「実態把握や共通理解、授業実践など、今後も自立活動について学んでいきたい」などの感想をいただきました。

今後も、本校が担う「地域における特別支援教育のセンター的機能」の取り組みの1つとして、地域の先生方のニーズに応じた研修の企画・実施に取り組んでいければと思います。

2月の行事予定



日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1日	水	カネモリブリックラボとのコラボ授業③(中学部)	10日	金	授業力向上セミナー(10:45下校)
2日	木	雪遊び②(小学部)	13日	月	支援ミーティング(全学部)～27日
3日	金	雪中学習③(中学部)	15日	水	新入学予定者保護者説明会 PTAサークル(ミニバレー)
6日	月	体重体脂肪腹囲、雪中学習③(高等部)	16日	木	中学部群馬大交流 PTAサークル(ヨガ)
8日	水	PTA常任委員会 卒業生保護者との懇話会 中学部群馬大交流③予備日	21日	火	全校朝会
9日	木	雪遊び③(小学部) PTAサークル(ミニバレー) 雪中学習④(中学部)予備日	23日	木	天皇誕生日